

# 永遠なる太陽—金日成主席

ラテンアメリカ・チュチェ思想研究所理事  
コスタリカ・チュチェ思想研究所委員長  
フランシスコ・ダビラ・バジェ

世界の進歩的人民は朝鮮民主主義人民共和国の金日成主席（1912—1994）を敬慕して尊敬し、主席を人類の太陽と呼んでいます。

## 20世紀のすぐれた政治元老

金日成主席は早くから人類に階級解放、民族解放、人間解放の原理を教えるチュチェ思想を創始し、帝国主義に反対し、自主性のために戦う進歩的人民を積極的に支援して人類の自主化偉業の実現に大きな貢献をなしました。

金日成主席の指導の下にチュチェ思想を正しく具現して朝鮮人民は史上初めて地球上でもっとも強大であると自称するアメリカ帝国主義侵略軍を打ち破り、立ち遅れた封建国家であった朝鮮を発展した社会主義強国に変えました。

スターリンは、金日成主席は東方で帝国主義侵略からソ連を血をもって、武装で擁護してくれた真のプロレタリア国際主義者であると言いました。毛沢東と周恩来は機会があるたびに中国の五星紅旗には朝鮮共産主義者の赤い血がにじんでいると言いました。

1964年8月、アメリカが「トンキン湾事件」を起こした時、金日成主席は朝鮮民主主義人民共和国政府が反米声明を発表するようにし、1966年10月にはベトナム人民の反米抗戦を決死の覚悟で援助するという確固たる立場を再闡明しました。朝鮮人民軍はベトナム戦争に参加してアメリカ帝国主義者に致命的な打撃を与えました。そして朝鮮人民は経済建設と国防建設を並進させる厳しい条件でもベトナムに送る2百万余着の被服をはじめ、各種の援助物資の生産を優先させました。

金日成主席はシオニズムに反対し、地域の平和と領土保全のために戦っていたエジプトとシリアをはじめとしたアラブ諸国に軍事的援助を含む積極的な援助を与えるようにしました。

ナミビアの初代大統領であったサム・ヌジョマは、自国の独立は全的に金日成主席のおかげによってもたらされた、主席はナミビア革命の偉大な師である、と

いいました。

モザンビークの大統領であったサモラ・モイセス・マーシャルは次のようにいいました。

「偉大な英雄である金日成主席がわれわれの前途を指し示したがゆえに、われわれは屈従から脱して独立を成し遂げることができた」

西側のある新聞は「去る 20 世紀の指導者」という題の記事で次のように書いています。

「金日成主席によって始まった自主性への志向は、前世紀を導いてきた主な要因の中の一つである」

反帝自主偉業の実現にささげた金日成主席の貢献は永遠でありましょう。

## 偉大な師

金日成主席は独立を成し遂げた国々が政治の支柱を打ち立てて新しい社会建設で提起されるすべての問題を自国の現実に合わせて自力で解決するようにし、新しい社会の建設をめざす彼らの闘争に積極的な援助を与えました。この過程にチュチェ思想はわれわれの時代の正しい革命思想となりました。

今日、世界の多くの国の人民がチュチェ思想の基礎的原理を学習し、自国の現実に適用しています。

チュチェ思想はそれについて学習する研究所がつくられたすべての大陸に急速に波及されるようになりました。多くの国と都市、大学と村ではチュチェ思想研究グループが結成されています。

今日、全世界の政治指導者と学者、大学生、軍人がチュチェ思想を学んでいます。前ユーゴスラビア大統領であり、非同盟運動の創始者の中の一人であったヨシブ・ブロズ・チトーは、現世界は金日成主席の尊名を抜きにしては考えられないとし、主席を世界革命と非同盟運動の偉大な領袖と称揚しました。

1980 年代の中葉、金日成主席は地球の西半球で社会主義の旗を掲げていくキューバ人民を大きく励ますためにキューバに数万挺の武器と弾薬を送るようにしました。

主席は新興独立諸国の経済的進歩と発展に必要な援助を惜しみませんでした。それによって 10 余カ国で発電所と工場、農場と灌漑施設など、多くの経済的対象が建設されるようになりました。

主席は数回にわたって非同盟国家と発展途上諸国における農業発展で提起される諸問題に明確な解明を与えました。

前ガイアナ大統領であったフ・デスモンド・ホイテは豊作の平野を俯瞰しながら自分の気持ちをこう吐露しました。

「この豊作はわれわれに機械と技術者を送り、わたしに農業の方法まで教えてくださった金日成主席のおかげによるものである。われわれは主席に感謝してしかるべきだ」

発展途上諸国の民族文化の発展に深い関心を払った金日成主席はレソトの政府庁舎と中央アフリカ共和国の国会庁舎をはじめとした多くの建築物を建て、40余カ国におけるマスゲーム創作を助けるために専門家を送っていただきました。

各国の人士とマスメディア、出版物が評したように南南協力における金日成主席の立派な模範は自由で繁栄する新しい世界建設をめざす進歩的人民の闘争史に金文字で刻まれています。

## 仁徳の化身

金日成主席は帝国主義に反対し、自主性のために戦う人々を真の同志、友人として尊敬し、彼らに大きな信頼を与えました。

主席はカンボジアのノロドム・シハヌークと深い親交関係をもっており、世界が「共産国家首班と王との間の親交関係」と評した事実は今日も一つの伝説のように伝えられています。

主席は中国の烈士である張蔚華と旧ソビエト軍官であるヤ・テ・ノビチェンコを国際主義者の鑑としておし立て、彼らとその家族に深い愛と配慮をめぐらしました。

当時、ポルトガル大統領であったフランシスコ・ダ・コスタ・ゴメスは、金日成主席は仁徳で世界を感動させる偉大な人間であるといいました。

朝鮮を訪問したアメリカの宗教指導者ビリ・グラハムは次のようにいいました。

「朝鮮でわたしは福音を説く必要を全然感じなかった。聖書にはみんなが人間を愛しろという神の意思が込められている。ところが、朝鮮は人間にたいする愛を国家政策にしている。国家が無料治療と無料教育、衣服、食料品と住宅の保障に責任をもっている。これがまさに人民を天のごとくみなす金日成主席が実施している政治である。朝鮮人民は主席を神のように崇めている。聖書がこの国になぜ必要なのか？」

金日成主席の熱烈な人間愛と無限大の度量は朝鮮人民だけでなく、国籍と公

民権、信仰と政治的見解を超越して世界のすべての人民のためのものでありました。主席が取った措置によって下半身麻痺になるどころだったオーストリア首相ブルノ・クレイスキが大地を闊歩するようになり、元ギニア放送局局長エミレ・トゥムパパとインドのビシュワナス、そして多くの外国人が生死の岐路から脱するようになりました。

朝鮮民主主義人民共和国を敵視していた国々の政治家までも主席の高邁な風貌に頭を下げました。元日本の副首相であった金丸信は主席のためなら自分の命をもささげるといいました。元アメリカ大統領ジミ・カーターは、金日成主席はアメリカ合衆国の建国と発展でもっとも有名であったジョージ・ワシントンとトマス・ゼパソン、アブラハム・リンカンを合わせたよりもっと偉大であるといいました。

金日成主席は全世界の人民の心の中に永生しています。